

平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 11 月 7 日

会社名 楽天証券株式会社

URL <http://www.rakuten-sec.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 楠 雄治

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 (氏名) 今井隆和

TEL (03) 6739-1700

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期の連結業績(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	24,052	(153.5)	23,450	(164.7)	12,137	(729.9)	11,872	(692.0)
25 年 3 月期第 2 四半期	9,486	(△9.0)	8,859	(△9.2)	1,462	(△23.2)	1,498	(△30.2)

	四半期純利益		1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
26 年 3 月期第 2 四半期	6,643	(505.1)	93,835	02	—	—
25 年 3 月期第 2 四半期	1,097	(△39.7)	15,505	31	—	—

(注 1) 包括利益 26 年 3 月期第 2 四半期 6,721 百万円 (577.6%) 25 年 3 月期第 2 四半期 991 百万円 (△43.1%)

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
26 年 3 月期第 2 四半期	777,071		47,929		6.0	666,393	73	
25 年 3 月期	627,838		41,208		6.4	571,304	92	

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 2 四半期 47,180 百万円 25 年 3 月期 40,447 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25 年 3 月期	—	—	—	—	—	—
26 年 3 月期	—	—	—	—	—	—
26 年 3 月期 (予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成 26 年 3 月期の連結業績予想(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

当社グループの主たる事業である証券業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 一社(社名)、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	70,799株	25年3月期	70,799株
----------	---------	--------	---------

② 期中自己株式数

26年3月期2Q	－株	25年3月期	－株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	70,799株	25年3月期2Q	70,799株
----------	---------	----------	---------

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
【注記事項】.....	10
4. 四半期業績資料.....	11
(1) 株券売買高.....	11
(2) 自己資本規制比率.....	11
(3) 預り資産.....	11
(4) 役職員数の状況.....	11
(5) 連結損益計算書四半期推移.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間の国内株式市場は、期首日経平均株価 12,000 円台から始まりました。第 2 次安倍内閣が推進する大胆な経済政策『アベノミクス』や日銀による異次元の金融緩和導入による景気浮揚への期待感から、過熱感が指摘されながらも株価は堅調に上昇し、平成 25 年 5 月 23 日に年初来高値 15,942.60 円を記録いたしました。その後、米国の量的緩和策の早期縮小観測・中国の景気減速や金融システムの不安から、一時日経平均株価は 13,000 円台を下回るも『アベノミクス第二弾』への期待、2020 年東京五輪開催決定といった事象から相場は再度上昇し、結果 9 月末の日経平均株価は 14,000 円台にて取引を終了しました。

このような環境下、楽天証券グループにおきましては、楽天グループの金融サービスをより総合的にご提供するべく注力してまいりました。楽天銀行との連携サービス『マネーブリッジ』の利用者数が 20 万人を超え、利用残高も 1,000 億円超を記録いたしました。また、平成 25 年 1 月 7 日にサービスを一新した FX サービスもその質の高いサービスが評価され、取引量が大きく増加いたしました。

サービス面におきましては、より一層利便性の高いサービスを提供すべく当社の提供する最強のオンライン・トレーディングツール『マーケットスピード』の更なる開発を行い、平成 25 年 10 月に株価ボードから直接注文が執行できる『武蔵』、オンライン証券で初の導入となる最短ワンクリックでスピーディに注文が執行できる『エクスプレス注文』を搭載した『マーケットスピード』Ver12 をリリースいたしました。またユーザー数が爆発的に増加しているスマートフォンを中心としたモバイル端末向けサービスの更なる利便性を図り、当上半期におきましてはチャートを見ながら即発注ができる『iSPEED FX』Version 2.0 をリリースいたしました。

また直接お客様と対話のできる『楽天証券全国キャラバン』セミナーを 9 月末までに全国 9 都市で開催し、延べ 1 万人以上のお客様と対話いたしました。

投資信託に関しましては、全国約 200 行の金融機関から積立の引落しを可能にするサービスを開始すると共に、投資信託の分配金を直接登録金融機関にお振込みする『投信分配金自動振込サービス』を開始するなどサービスの拡充を図りました。加えてお客様のニーズにお応えするため、投資信託の取り扱い本数を大きく増加させ、9 月末には取扱い投資信託本数は 1,402 本となり、業界 No1 の取扱い数を達成いたしました。これら施策から当第 2 四半期末の投資信託残高は 3,250 億円 (MMF を含む) まで増加いたしました。

以上の結果、平成 25 年 9 月末における楽天証券の口座数は 1,569,195 口座 (前年同期末口座 1,356,998 口座)、信用取引口座数は 164,071 口座 (前年同期末 146,163 口座) と増加いたしました。

当第 2 四半期連結累計期間の楽天証券グループにおける主な取り組みは以下のとおりです。

- ・ 全国約 200 行の金融機関から積立の引落しを可能にした『投信積立銀行引落しサービス』を開始 (平成 25 年 4 月)
- ・ 楽天銀行との口座連携サービス「マネーブリッジ」をご利用中のお客様に楽天銀行のユーザー ID 及びパスワードを利用して楽天証券の証券口座にログインできる『証券口座かんたんログインサービス』を提供開始 (同 5 月)
- ・ 『月々 1,000 円からできる! 楽天証券で「投信」積み立てを始めよう! 中長期で資産を作るスタートガイド』発刊 (同 6 月)
- ・ 投資信託の分配金を直接登録金融機関に振込む『投信分配金自動振込サービス』を提供開始 (同 6 月)
- ・ 業界初、NISA 口座開設で 1,000 円分の投資信託がもらえる NISA スペシャル企画を開始 (同 7 月)
- ・ グループ連携企画『楽天証券で NISA を始めよう総勢 1,213 名に楽天グループ豪華賞品プレゼント』を実施 (同 7 月)
- ・ 楽天銀行との口座連携サービス『マネーブリッジ』の利用者数が 20 万人を突破 (同 7 月)
- ・ 投資信託の基準価額や分配金などの情報をメールでお知らせする『投資信託自動メールサービス』開始 (同 8 月)
- ・ 投資信託の取扱銘柄数 1,400 本&ノーロード 400 本突破し国内 No.1 のラインナップ達成 (同 8 月)
- ・ 楽天銀行との口座連携サービス『マネーブリッジ』の利用残高が 1,000 億円を突破 (同 8 月)
- ・ 株価ボード (板) から直接注文が執行できる『武蔵』とオンライン証券で初の導入となる最短ワンクリックでスピーディに注文が執行できる『エクスプレス注文』を搭載した『マーケットスピード』Ver12 をリリース (同 10 月)

これらの施策の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、営業収益は24,052百万円、純営業収益は23,450百万円、営業利益は12,137百万円、経常利益は11,872百万円、四半期純利益は6,643百万円となりました。

また、主な収益・費用の状況は以下のとおりであります。

【受入手数料】

当第2四半期連結累計期間の受入手数料は15,155百万円となりました。
科目別の内訳は以下のとおりであります。

[委託手数料]

委託手数料は、株式現物取引、株式信用取引を中心に12,709百万円となりました。

[募集・売出しの取扱手数料]

募集・売出しの取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に、1,285百万円となりました。

[その他の受入手数料]

その他の受入手数料は、投信代行手数料を中心に1,160百万円となりました。

【トレーディング損益】

トレーディング損益は、外国為替証拠金取引（楽天FX）と外国債券の販売と為替の影響により2,467百万円となりました。

【金融収支】

金融収益は6,047百万円となりました。また、金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は5,444百万円となりました。

【販売費及び一般管理費】

販売費・一般管理費は11,312百万円となりました。主な内訳は、取引関係費5,088百万円、事務費1,922百万円、減価償却費1,244百万円、人件費1,725百万円等となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、28,797百万円の収入となりました。これは、預り金、受入保証金の増加が主な要因であります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,726百万円の支出となりました。これは、無形固定資産の取得による支出が主な要因であります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、98百万円の支出となりました。これは、リース債務の返済による支出が主な要因であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、49,445百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主たる事業である証券業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	616,947	764,873
現金・預金	28,955	55,651
預託金	294,454	384,503
金銭の信託	800	800
トレーディング商品	5,222	8,539
商品有価証券等	564	560
デリバティブ取引	4,658	7,978
営業投資有価証券等	835	972
約定見返勘定	33	—
信用取引資産	237,891	270,146
信用取引貸付金	228,527	259,341
信用取引借証券担保金	9,363	10,805
有価証券担保貸付金	6	—
借入有価証券担保金	6	—
立替金	185	210
募集等払込金	4,838	3,127
短期差入保証金	36,495	30,196
支払差金勘定	2,401	4,793
短期貸付金	27	33
前払金	11	46
前払費用	172	424
未収入金	449	522
未収収益	2,660	3,318
繰延税金資産	331	587
その他流動資産	1,289	1,105
貸倒引当金	△ 113	△ 107
固定資産	10,891	12,198
有形固定資産	646	1,131
建物	147	148
器具・備品	499	982
無形固定資産	8,924	9,823
のれん	1,726	1,687
ソフトウェア	6,331	6,715
ソフトウェア仮勘定	221	682
その他	645	737
投資その他の資産	1,319	1,243
投資有価証券	345	324
長期貸付金	147	231
長期差入保証金	469	550
長期前払費用	15	23
繰延税金資産	433	264
その他	1,503	1,213
貸倒引当金	△ 1,595	△ 1,363
資産合計	627,838	777,071

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	584,052	725,887
トレーディング商品	4,741	6,185
商品有価証券等	0	—
デリバティブ取引	4,741	6,185
約定見返勘定	—	36
信用取引負債	46,782	45,608
信用取引借入金	8,542	2,967
信用取引貸証券受入金	38,240	42,640
有価証券担保借入金	110,400	116,412
有価証券貸借取引受入金	110,400	116,412
預り金	199,962	285,352
受入保証金	127,831	152,751
有価証券等受入未了勘定	6	—
受取差金勘定	182	168
短期借入金	86,788	110,056
前受金	97	141
前受収益	9	—
未払金	739	394
未払費用	1,600	1,925
未払法人税等	2,855	4,794
賞与引当金	523	677
役員賞与引当金	—	20
販売促進引当金	45	32
その他の流動負債	1,483	1,328
固定負債	645	689
資産除去債務	28	28
その他の固定負債	617	661
特別法上の準備金	1,932	2,564
金融商品取引責任準備金	1,891	2,523
商品取引責任準備金	41	41
負債合計	586,630	729,141
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	7,495	7,495
資本剰余金	4,511	4,511
利益剰余金	28,093	34,736
株主資本合計	40,100	46,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347	436
その他の包括利益累計額合計	347	436
少数株主持分	760	749
純資産合計	41,208	47,929
負債・純資産合計	627,838	777,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日)	(自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日)
営業収益	9,486	24,052
受入手数料	6,364	15,155
委託手数料	4,790	12,709
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	—	0
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	304	1,285
その他の受入手数料	1,269	1,160
トレーディング損益	141	2,467
営業投資有価証券等損益	△ 2	0
金融収益	2,796	6,047
その他の営業収益	186	382
金融費用	627	602
純営業収益	8,859	23,450
販売費・一般管理費	7,396	11,312
取引関係費	2,524	5,088
人件費	1,237	1,725
不動産関係費	836	1,026
事務費	1,522	1,922
減価償却費	1,167	1,244
租税公課	108	159
のれん償却額	21	38
貸倒引当金繰入	△ 85	47
その他	62	59
営業利益	1,462	12,137
営業外収益	60	30
営業外費用	24	296
経常利益	1,498	11,872
特別利益	254	17
特別損失	303	633
税金等調整前四半期純利益	1,450	11,255
法人税、住民税及び事業税	239	4,759
法人税等調整額	95	△ 136
法人税等合計	335	4,622
少数株主損益調整前四半期純利益	1,114	6,632
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	17	△ 10
四半期純利益	1,097	6,643

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 平成24年4月 1日) (至 平成24年9月30日)	(自 平成25年4月 1日) (至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,114	6,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 123	88
その他の包括利益合計額	△ 123	88
包括利益	991	6,721
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	974	6,732
少数株主に係る包括利益	17	△ 10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	区分	前連結会計年度	当連結会計年度
		(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
I	営業活動によるキャッシュ・フロー		
	税金等調整前当期純利益	1,450	11,255
	減価償却費	1,167	1,244
	のれん償却額	21	38
	貸倒引当金の増減額	△ 334	△ 237
	販売促進引当金の増減額	5	△ 12
	金融商品取引責任準備金の増減額	△ 254	631
	商品取引責任準備金の増減額	5	—
	受取利息及び受取配当金	△ 326	△ 379
	支払利息	298	202
	清算配当金	—	△ 17
	預託金の増減額	14,069	△ 90,049
	金銭の信託の増減額	△ 200	—
	トレーディング商品の増減額	△ 95	△ 1,872
	約定見返勘定の増減額	△ 3,334	70
	信用取引勘定資産の増減額	7,951	△ 32,255
	短期差入保証金の増減額	△ 4,114	6,298
	支払差金勘定の増減額	3,523	△ 2,392
	信用取引勘定負債の増減額	△ 16,438	△ 1,174
	預り金の増減額	△ 6,013	85,390
	有価証券担保借入金の増減額	4,182	6,011
	受入保証金の増減額	△ 742	24,919
	コールマネー等の増減額	3,994	23,263
	その他	37	449
	小計	4,853	31,386
	利息及び配当金の受取額	183	507
	利息の支払額	△ 287	△ 196
	法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	219	△ 2,898
	営業活動によるキャッシュ・フロー	4,968	28,797
II	投資活動によるキャッシュ・フロー		
	定期預金の純増減額	1,090	△ 1,467
	有形固定資産の取得による支出	△ 103	△ 324
	無形固定資産の取得による支出	△ 1,646	△ 2,032
	無形固定資産の売却による収入	18	20
	投資有価証券の取得による支出	△ 5	—
	投資有価証券の売却等による収入	40	49
	貸付金の回収による収入	12	28
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 593	△ 3,726
III	財務活動によるキャッシュ・フロー		
	短期借入金の純増減額	12,012	4
	長期借入金の返済による支出	△ 15,000	—
	リース債務の返済による支出	△ 67	△ 103
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,055	△ 98
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 235	191
V	現金及び現金同等物の増減額	1,084	25,164
VI	現金及び現金同等物の期首残高	12,722	24,280
VII	現金及び現金同等物の期末残高	13,806	49,445

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

[注記事項]

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 有形固定資産の減価償却累計額

(前連結会計年度)	(当第2四半期連結会計期間)
1,346 百万円	1,539 百万円

(四半期連結損益計算書関係)

特別損益の内訳

	(前第2四半期連結累計期間)	(当第2四半期連結累計期間)
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	254 百万円	- 百万円
清算配当金	- 百万円	17 百万円
特別損失		
金利スワップ解約損	297 百万円	- 百万円
金融商品取引責任準備金繰入	- 百万円	631 百万円
その他	5 百万円	1 百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は以下のとおりであります。

	(前第2四半期連結累計期間)	(当第2四半期連結累計期間)
現金・預金	20,976 百万円	55,651 百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 7,169 百万円	△ 6,206 百万円
現金及び現金同等物	<u>13,806 百万円</u>	<u>49,445 百万円</u>

【四半期業績資料】

(1) 株券売買高 (楽天証券株式会社) (単位：百万株・百万円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前事業年度末	
	株数	金額	株数	金額	株数	金額
合計	16,391	7,000,103	47,406	30,724,506	50,924	22,804,970
(自己)	(0)	(0)	(1)	(1,207)	(1)	(3,295)
(委託)	(16,391)	(7,000,103)	(47,405)	(30,723,298)	(50,923)	(22,801,675)
委託比率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
東証シェア (%)	3.4	2.5	4.9	4.0	4.2	3.1
1株当たり委託手数料	0円21銭		0円22銭		0円19銭	

(2) 自己資本規制比率 (楽天証券株式会社) (単位：百万円)

	前第2四半期末	当第2四半期末	前事業年度末
固定化されていない自己資本の額 (A)	26,336	35,559	30,974
リスク相当額 (B)	5,942	10,239	8,467
市場リスク相当額	107	281	204
取引先リスク相当額	2,884	6,316	5,333
基礎的リスク相当額	2,950	3,641	2,928
自己資本規制比率 (A)／(B)×100	443.1 %	347.2 %	365.8 %

(3) 預り資産 (楽天証券株式会社) (単位：百万円)

	前第2四半期末	当第2四半期末	前事業年度末
株式	929,388	1,477,536	1,334,259
受益証券	400,603	705,328	609,214
その他	257,092	440,915	335,556
合計	1,587,083	2,623,779	2,279,029

(4) 役職員数の状況 (楽天証券株式会社) (単位：人)

	前第2四半期末	当第2四半期末	前事業年度末
役員	11	9	10
従業員	239	261	238

(5) 連結損益計算書四半期推移

(単位：百万円)

科目	当第1四半期 〔自平成25年4月1日 至平成25年6月30日〕	当第2四半期 〔自平成25年7月1日 至平成25年9月30日〕	当期累計 〔自平成25年4月1日 至平成25年9月30日〕
営業収益	13,624	10,427	24,052
受入手数料	8,875	6,280	15,155
トレーディング損益	1,406	1,061	2,467
営業投資有価証券等損益	—	0	0
金融収益	3,155	2,891	6,047
その他の営業収益	186	196	382
金融費用	362	240	602
純営業収益	13,262	10,187	23,450
販売費・一般管理費	5,950	5,362	11,312
取引関係費	2,863	2,225	5,088
人件費	833	892	1,725
不動産関係費	506	519	1,026
事務費	917	1,004	1,922
減価償却費	598	646	1,244
租税公課	93	65	159
のれん償却額	15	22	38
貸倒引当金繰入	99	△ 52	47
その他	21	38	59
営業利益	7,312	4,825	12,137
営業外収益	15	14	30
営業外費用	283	12	296
経常利益	7,044	4,827	11,872
特別利益	2	14	17
特別損失	—	633	633
税金等調整前四半期純利益	7,047	4,208	11,255
法人税、住民税及び事業税	2,704	2,055	4,759
法人税等調整額	84	△ 221	△ 136
少数株主損益調整前四半期純利益	4,258	2,374	6,632
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	25	△ 36	△ 10
四半期純利益	4,232	2,410	6,643